

秋の火災予防運動 11月9日~11月15日



3つの習慣

- 1 寝たばこは、絶対やめる。
- 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
- 3 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

**住宅防火
いのちを守る
7つのポイント**

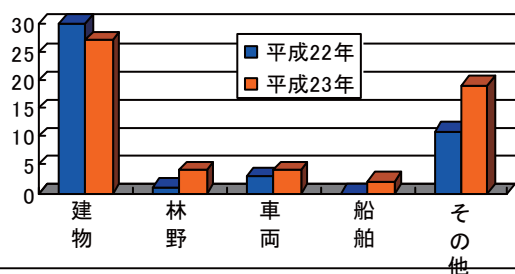
火災概況



平成23年上半期に宇和島地区管内で発生した火災は39件で、前年の20件に比べ19件も増加しています。中でも林野火災及びその他火災の増加が顕著で、たき火、火入れ、火遊び等の原因によるものです。また、月平均出火件数は6.5件で、およそ5日間に1件の割合で発生しました。

火災種別では、建物火災が17件、林野火災4件、船舶火災2件、車両火災1件、その他火災15件となっています。

出火原因では、放火・放火の疑い6件、こんろ5件、たき火5件、火入れ4件などになっており、全国的に多発しているたばこによる出火は2件となっています。



平成23年上半期 火災・救急速報



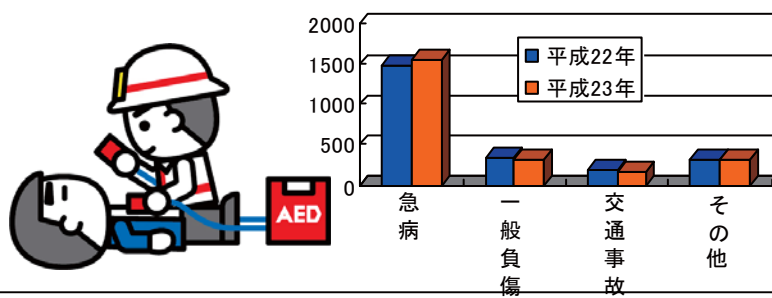
救急概況

平成23年上半期の救急出場件数は2,361件で、前年に比べ29件の増加、搬送人員においては2,234人で9人減少しています。

事故種別では急病が1,563件(66.2%)、1,458名(65.3%)で半数以上を占めており、次いで一般負傷の316件(13.4%)、303名(13.6%)となっています。

近年増加の原因となっている熱中症の傷病者は、6月中8名、7月中12名、8月中18名、9月中2名の合計40名で、重症と思われる傷病者は1名でした。

また、緊急性が低い傷病者の増加が見られ、適切な救急車の利用を周知する必要があると考えられます。



宇和島市役所消防訓練実施

平成23年10月7日

宇和島市役所は消防計画及び市庁舎防火管理規程に基づき、自衛消防隊及び措置要領が十分機能するか検証するとともに、自衛消防組織における自己の任務の再確認と、迅速な対応を体得することを目的とした消防訓練を実施しました。

訓練は、2階給湯室から出火したとの想定で、出火場所の確認、初期消火、119番通報及び来庁者の避難誘導の訓練が行われ、訓練終了後は、職員を2つのグループに分け、消防隊員指導による応急処置等の訓練及び煙体験ハウスを使用した避難訓練を実施しました。

煙体験ハウスでは「昼間なのにこれだけ前が見えなくなるとは思っ
てなかった。」などの声が多数聞かれ、貴重な体験となったようです。

最後に広瀬消防署長の講評及び市長(本部長)のあいさつで訓練を終了しました。

